

## 第三者評価報告書



第三者評価実施結果について本書の通り報告いたします。

報告日：20〇〇年〇月〇日

印

一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

## 【運営法人情報】

施設名称	〇〇幼稚園
運営法人名称	学校法人〇〇学園
施設種別	□□型認定こども園
代表者氏名	機構 太郎
施設所在地	〒000-0000 東京都千代田区△△1丁目1-1
電話番号	03-0000-0000
ホームページアドレス	https://www.****.ed.jp
メールアドレス	info@***.**.jp
事業開始年月日	昭和△年△月△日
園児数	240人
学級と人数	年長組3クラス90名、年中組3クラス80名、年少組4クラス70名
保育者数・職員数	30人

## 【理念・基本方針】

「子どもが主人公」を教育理念とし、「子どもの育ちにとって何がよいか」という視点と「自分の人生の主人公は自分自身」という感覚を根付かせることを大切にしている。あたたかい雰囲気の中で子ども一人ひとりとていねいに関わっていくという従来からの教育方針に加え、近年では「子どもの声を大切にする保育」「考える力を育む保育」を重点目標とし、職員全員で共有しながら教育活動を進めている。

## 【評価機関情報】

評価機関名	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
評価実施期間	20〇〇年〇月〇日～〇月〇日
評価報告書作成者	EH〇〇〇〇〇

## 【評価者】

教育学等を専門とする大学教授等	〇人
他園の教員等、幼児教育関係者	〇人
小学校教員、指導主事等学校の教育活動に造詣の深い者	〇人
その他	〇人
計	〇人

## 【総評】

### ●総合評価

保育者一人ひとりが真面目で誠実であり、また保育者間で園として目指す保育の方向性が共有されており、連携や協力の前提となる信頼関係が十分に構築されている。その基盤を活かして、さらに「子どもが主人公」となる保育実践のために、個々の努力を越えた園全体での育てたい子ども像とカリキュラムとの擦り合わせなどより高度な協同を模索している過程にある。今後の保育者集団の冒険に期待している。

### ●特に評価が高い点、園の良さ等

- ・子どもの好きなことや興味をもったことを起点とする保育活動。
- ・子どもが没頭して遊ぶことのできる保育環境と保育者の関わり。
- ・少人数に分かれての子ども同士の話し合いで、子どもたちが自分の思いや考えを伝え、相手の言葉を聞く姿勢や態度。

### ●課題、改善を求められる点

- ・子どもの興味を起点とした活動を時機を逃さずに行うための時間的余裕がない。
  - ・保育者が子どもと話し合うときの聴き方や受け止め方、話し合いの深み。
- 活動時間を確保するために、園として学年やクラスの枠を越えて育てたい子どもの姿を見定めて、それを踏まえた行事やカリキュラムの見直しに取り組む必要性が確認された。

### ●第三者評価結果に対する法人・施設のコメント

ここ数年、「子どもが主人公」という教育理念を具体的な実践に落とし込むために、「子どもたちの声を大切にする」ことなどを重点目標として試行錯誤してきたが、今回の第三者評価によって、その方向性が間違っていないことを確認するとともに、子どもの興味を起点にした活動や子どもが遊び込める環境への意識をさらに高めていく必要性を感じた。今後は、園全体として「育ててほしい子どもの姿」を改めて整理・共有し、誠実であるという保育者集団の良さも活かしながら時には思い切って挑戦することも大切に、目の前の子どもの姿からカリキュラムを見つめ直していくことに取り組んでいきたい。